



岩鷲護神ハチマンタイラーが応援に駆け付け、ファミリーコースの選手たちを見守りながら走りました。

第17回岩手山焼走りマラソン全国大会

初夏の岩手山ろくで 健脚を競う！

北は青森から南は熊本まで、全国から1,292人のランナーが集い、緑輝く岩手山ろくを風のように駆け抜けました。

た。ゴール後は、市民が取れたてのキュウリやトマト、豚汁などを振る舞い、選手をねぎらいました。選手たちは互いの健闘をたたえながら、次回の大会に向けて意欲を高めています。

第17回岩手山焼走りマラソン全国大会は7月27日、岩手山焼走り国際交流村付近を会場に開催されました。「共に走ろう農の大地を輝き目指して」を大会スローガンに掲げ、全国から1,292人のランナーが参加。緑輝く初夏の岩手山ろくを舞台に日ごろ鍛えた健脚を競いました。当日は絶好のマラソン日和に恵まれ、選手たちは号砲が鳴るのを待ちかねながらも、入念にウォーミングアップをします。高らかに号砲が鳴り響くといよいよ競技開始です。東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)で輝かしい実績を持つ、駒沢大学陸上競技部の6人を先頭に一般10キロコースから順次スタートし、記録と自分の限界に挑みまし



中学生コースには、市内外の中学生が多数参加。学校やクラブの名譽をかけて、力走を見せます。



昨年引き続き、前半は下り、後半に上りが待つ難コースです。一般10^{キロ}コースでは246^{キロ}、一般5.3^{キロ}で113^{キロ}、中学生3.2^{キロ}コースでも52^{キロ}に及び標高差を前に、選手たちは一様に後半の上り坂で苦戦の様子。軽やかに進む下り坂から一転して、上りに入ると足が重くなりますが、選手たちは沿道からの声援を力に換えて、ゴールを目指して走り続けました。



コース内には、給水所を3カ所設置。選手たちは各ポイントで冷たい水を補給し、のどの渇きを潤しながらゴールを目指しました。

共に走ろう みのり 農の大地を ひかり 輝を目指して



一般コース10 ^{キロ}	16~39歳男子の部	①久保田 哲也 ②目移 和行 ③菅原 康彦	花巻市 雫石町 北上市	一般コース5.3 ^{キロ}	16~39歳男子の部	①白石 龍司 ②伊藤 卓也 ③高橋 進	盛岡市 矢巾町 青森県	
	16~39歳女子の部	①中村 志保 ②児玉 由美 ③藤井 和佳子	八幡平市 北上市 花巻市		16~39歳女子の部	①河井 香月 ②水村 仁美 ③小笠原 有理	岩手町 盛岡市 滝沢村	
	40~59歳男子の部	①長根 誠 ②稲村 輝男 ③菊地 保	青森県 青森県 青森県		40~59歳男子の部	①安保 淳 ②田村 孝 ③杉沢 隆司	矢巾町 八幡平市 青森県	
	40~59歳女子の部	①伊藤 由希恵 ②小西 紀江 ③川又 ミドリ	盛岡市 青森県 八幡平市		40~59歳女子の部	①沢田 芳子 ②脇田 映子 ③小野寺 たけ子	滝沢村 花巻市 一関市	
	60歳以上男子の部	①石井 嶺雄 ②藤沢 哲雄 ③長岡 直人	陸前高田市 盛岡市 釜石市		60歳以上男子の部	①高橋 州佑 ②谷川 謙造 ③山形 勝久	奥州市 青森県 矢巾町	
	60歳以上女子の部	①池田 英美子 ②木村 紀子 ③松岡 マヨ子	青森県 宮城県 花巻市		60歳以上女子の部	①富樫 良子 ②新明 雅子 ③佐藤 捷子	秋田県 神奈川県 奥州市	
	招待選手	①太田 行紀 ②藤原 昌久 ③我妻 伸洋	駒沢大学 駒沢大学 駒沢大学		中学生男子の部	①高橋 知成 ②工藤 郁也 ③竹本 紘希	松尾 西根 黒石野	
	ファミリーの部	①八重樫光徳・光男 ②長根誠・護 ③菊地一美・智幸	花巻市 青森県 遠野市		中学生女子の部	①前野 佳那 ②小西 菜奈 ③工藤 優香	奥中山 奥中山 大館一	
	ファミリー2.3 ^{キロ}				中学生コース3.2 ^{キロ}			

ファミリーコースは、参加者2人で手をつないで同時にゴールするのがルール。達成感で笑顔が輝きます。

閉会式で入賞者に賞状とメダル、副賞を一人一人に手渡し、榮譽をたたえました。

